

うららかな春の日差しが心地よく、花の便りが次々と舞い込むこのよき日に、私たち 1,235 名は、山梨大学への入学を許可されました。本日は、このような厳粛かつ盛大な式を挙行していただき、誠にありがとうございます。入学生を代表して教職員および関係者の皆様方へお礼申し上げます。

この日を山梨大学の一員として迎えられたことに大きな喜びを感じ、これから仲間とともに様々なことに挑戦し、学んでいけることへの期待で満ちあふれています。

さて、私たちはデジタルネイティブ世代（Z世代）であり、幼い頃からインターネットや SNS が身近にあり、情報収集や自己表現、コミュニケーションのツールとして活用してきました。近年、社会のオンライン・デジタル化はさらに進んでおり、最近では、ChatGPT などの生成 AI の技術の発展によって、今後、私たちが接していく情報の量や密度はますます増加していくことが予想されます。そうした膨大な「情報の海」のなかで、自分に必要な情報を取捨選択し、その情報の関連付けや構造化、体系立てを通して、自ら考えていく力がよりいっそう必要になると考えます。また、その情報の確からしさを高めて他人にどのように伝えていくのか、表現や伝達の技術、情報モラルや倫理もよりいっそう問われることになるでしょう。

私の好きな言葉に「人のためにあれ」というものがあります。これは皆様もご存じ、私たちの大先輩でもある大村智博士の言葉ですが、実学を重んじ、不撓不屈の精神で人や社会のために尽くしていくことは、この今を生きる私たちに最も求められていることだと感じています。

本日より、山梨大学に入学する私たち 1,235 名は、「豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材」を目指すという理念のもと、中村学長をはじめ、先生方、先輩方のご指導を仰ぎ、それぞれの目標に向かって努力し、日々精進して参りますことをここに誓います。

令和 7 年 4 月 4 日

入学生代表 山梨大学 生命環境学部地域食物科学科 津田愛実